

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査に係る
第6回分科会等における指摘事項について

平成21年度
第7回 診療報酬調査専門組織・慢性期入院医療の包括評価調査分科会

日時：平成21年9月9日（水）15:00～17:00
場所：厚生労働省共用第8会議室（6階）

議事次第

- 1 平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査について
- 2 平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査 報告書（修正案）
- 3 その他

	指摘事項	対応状況
1	<p><コスト調査の集計結果について></p> <p>「医療療養病棟における患者1人1日当り費用推計(平均)」という図表において、平成20年度の変動費用は1日あたり11,848円と記載されている。</p> <p>一方、この費用を医療区分毎に案分をする際には、「共通病院のデータを用いた」との説明であった。</p> <p>そもそも、この11,848円という費用は、「全病院のデータ」ではなかったのか。費用の推計については、共通病院のデータを用いることで統一すべきと考えるが、そうすると11,848円という数値をそのまま用いていることは不適切ではないのか。</p> <p>この資料に関する詳しい説明を求める。</p>	<p>資料 「慢-2」</p>
2	<p><評価票を用いた追加分析について></p> <p>(1) レセプトに任意で添付されていた「医療区分・ADL区分の評価票」を用いて、1ヶ月間で加重平均した医療区分構成比と、暦月中の1日、例えば月半ばの、平日の1日の横断面の任意の1日の医療区分の構成比を比較した表を作成してほしい。</p> <p>(2) 以下の①～③のデータを示してほしい。</p> <p>① 調査月内で、1回でも医療区分の変更のあった患者数と、これら患者が全体に占める割合</p> <p>② ①のうち、1回でも改善した（区分が軽くなった）患者数と、これら患者が①に占める割合</p> <p>③ ①のうち、1回でも悪化した（区分が重くなった）患者数と、これら患者が①に占める割合</p>	<p>資料 「慢-3」</p>